



第63回佐賀県溶接技術競技会表彰式

第63回佐賀県溶接技術競技会表彰式
佐賀神社記念館に於いて昨年開催された佐賀県溶接技術競技会の表彰式が5月13日(金)開催されました。手溶接12名、半自動溶接31名、合計43名の参加者で



「挨拶」

梅雨の候、佐賀県溶接協会会員の皆様におかれましては益々のご活躍のこととお喜び申し上げます。本協会副理事長を務めて頂いております名村造船所の住でございます。日頃より、佐賀県溶接協会の事業に多大なるご協力とご支援頂きまして誠にありがとうございます。紙面をお借りしてお礼とご挨拶を申し上げます。

世界的なコロナウイルスの蔓延も落ち着きを見せ始め、各業界においてもイベント等が再開されるなど、身の回りが日常に戻りつつある事を実感する事が増えて参りました。外国人観光客の受け入れも再開される等、国際的な交流も今後加速していく事になるかと考えております。

競技の結果は次のようになりました。

- 手溶接の部
最優秀賞 山口康成 (株)名村造船所
優秀賞 吉田健二 (株)伊万里鉄工所
音成耕輔 産業技術学院
優良賞 中島俊輔 (株)名村造船所
堀 豊太 (株)ワイビーエム
- 半自動溶接の部
最優秀賞 岩永 任 (株)勝栄機工
特別優秀賞 鬼石直輝 (株)上メタリックス
優秀賞 松永拓也 (株)名村造船所
岸川竜也 (株)上デンソー
優良賞 水尾大紀 (株)伊万里鉄工所
池田 連 森鉄工(株)
原口晃太 (株)上メタリックス
- 優良事業場賞
株式会社 名村造船所

九州・沖縄地区溶接技術競技会
期日 5月29日(日)
会場 九州地区溶接技術検定委員会



九州大会佐賀県代表選手
左から岩永任(半自動)、吉田健二(手)、松永拓也(半自動)、音成耕輔(手)、鬼石直樹(半自動)の5名。
結果は協会ニュースで報告

女子溶接競技会の課題が変わります！

第2回大会の総括で初回と比べ競技作品のレベルが上がり上位選手の成績が拮抗してきたことから、一段階レベルを上げることになりました。

課題 手溶接 A-2V 半自動 SA-2V
最終層の指定範囲でアーク中断後、再スタート
大会対策講習会
・第1回 9月10日(土) 9:00~13:00
・第2回 10月15日(土) 9:00~13:00

競技会第3回女子大会
令和4年11月19日(土) 受付8:00~



第7回佐賀県高等学校ものづくり溶接競技会に向けて
6月18日(土)開催に向けて出場選手の練習風景を載せています。今年度は全体で30名と過去最高の参加人員となります。

書記局からの連絡
○法人会員・個人会員の皆様には年会費の請求書を送付しております。どうぞよろしくお願いいたします。

○いよいよ Web 申請化が始まりました。事務局も不慣れなため対応が追い付かず、ご迷惑をおかけしています。8 月末日切れサーベイランスが始まり、問い合わせがきています。《よくあるお問い合わせ》
・ID・パスワードを入れるがうまくいかない
→仮パスワードを再送しますので、当会までご連絡ください。
・業務従事期間でエラーがでる
→ ○○○○年○○月○○日 ~ △△△△年△△月△△日
↑ ↑
去年の明日の日付 今日の日付
【例】今日が 2022 年 6 月 6 日の場合
2021 年 6 月 7 日 ~ 2022 年 6 月 6 日

・退職者の資格については、当会へご連絡ください。その後、資格を解除してください。
・勤務先管理マイページに登録されている資格は、サーベイランス手続き後、九州地区溶接技術検定委員会より直接すべて勤務先におくられます。入金確認・新カード発送など時間を要しますので、早めの手続きをお願いします。詳しくは日本溶接協会ホームページをご覧ください。

○注意！！
勤務先マイページの場合、支払い方法としては銀行振り込みも選べますがサーベイランスの振込先は九州地区溶接技術検定委員会になります。請求書発行ボタンを押し、振込口座をご確認下さい。

評価試験 会場別合格率比較

年度	全体	名村	工技セ	産業技術
2018年度	1,254	284	586	384
合格率	76.30	79.42	75.31	74.32
2019年度	1,279	308	570	401
合格率	72.00	70.69	75.81	64.57
2020年度	1,435	348	568	519
合格率	72.35	77.01	72.79	67.53
2021年度	1,330	307	566	457
合格率	70.20	71.66	75.80	64.55

評価試験合格率の推移
評価試験の合格率80%越えを目指し取り組んでいますが、結果が伴っていません。コロナ禍で講習会も思うようには実施できなかったことも要因の一つかも知れませんが、日常業務との違いは、溶接の基本に忠実な作業が求められます。

DX (デジタルトランスフォーメーション) 講習のご案内

佐賀県立産業技術学院から DX 講習の申し込みチラシをいただきました。新聞等でもたまに目にすることもありますが DX ってなに？と思われる方も多いと思います。聞いただけでも頭が拒否反応を起こしそうです。日本のデジタル化はコロナ禍によって、海外と比べると大きく後れを取っていることが判明しました。行政のみならず、私たちの業務にもデジタル化を活用し業務の効率化を検討してみたいかがでしょうか。今回、産業技術学院で開催される講習は 12 時間と充実した内容となっています。企業から 1 人は DX 知識を学び業務の効率化を考えてみたいかがでしょうか。詳細は裏面を参照ください。

【在職者訓練（レディイト）「DX 基礎コース」受講申込書】

佐賀県立産業技術学院在職者訓練担当 行

令和 年 月 日

事業所名			業種				
所在地 電話番号	〒 TEL :						
事業所規模 (○で囲む)	ア.1~29人		イ.30~99人		ウ.100~299人		
	エ.300~499人		オ.500~999人		カ.1,000人以上		
教育・訓練担当者 氏名				教育・訓練担当者 所属部署			
受講申込者	ふりがな 氏名	性別	年令	生年月日	勤続 年数	部署・ 役職	備考
	ふりがな 氏名	性別	年令	生年月日	勤続 年数	部署・ 役職	備考
所属事業所等に おいて抱える課題 (訓練に期待すること)							

※「個人情報の保護に関する法律」及び「佐賀県個人情報保護条例」の規定に基づき、申込書に記載された個人情報は本学院で管理し、目的以外に使用しません。ただし、資料作成のため個人を特定しない形で統計的な調査に使用場合があります。

※訓練中の事故等につきましては、責任を負いませんので、原則労働保険に加入されている方の受講と致します。

申込先 佐賀県立産業技術学院 総務企画課 (在職者訓練担当)

E-mail:sangyougijutsugakuin@pref.saga.lg.jp FAX:0952-71-9033

在職者訓練
(レディイト)

7/21,28開催

DX (デジタルトランスフォーメーション) 基礎

訓練目標	DXとは何か、なぜ今DXなのか、さらに、他社の事例を学び、自社での展開の糸口になることを目標とします。 《具体的な到達目標》 ・DXリテラシーが着いた状態 ・デジタルの基礎知識を習得している ・DXの進め方を理解し、社内でのDXを推進することに前向きな状態 ・会社を改革していくマインドを持ち、講座終了後も継続的に社内に働きかけ、所属企業のDXの推進に貢献できる状態		
訓練期間	令和4年7月21日(木)、7月28日(木) [全2回] 9:00~16:00 ※ 昼休憩(12:00~13:00)を含む		
講師 (委託先)	株式会社 ワクフリ (本社所在地:福岡県福岡市博多区祇園町8番13号 第一プリンスビル1F)		
カリキュラム (概要)	<table border="0"> <tr> <td> 《1日目》 7月21日(木) ・クラウドサービス体験 ・デジタル化で社内がどう変化するか ・DX事例について ・中小企業におけるDXプロジェクトの進め方 ・DXにおける管理者(部門責任者)の役割等 ・自身が目指すべき姿の策定(ワークショップ) </td> <td> 《2日目》 7月28日(木) ・クラウドでのタスク管理 ・クラウドでの情報共有、業務管理 ・「kintone」の基本操作、カスタマイズやプラグインの利用 ・システム設計、アプリ作成のポイント ・開発の流れ(業務改善例)の紹介 </td> </tr> </table> <p>※カリキュラムは現時点の案であり、変更となる場合があります。</p>	《1日目》 7月21日(木) ・クラウドサービス体験 ・デジタル化で社内がどう変化するか ・DX事例について ・中小企業におけるDXプロジェクトの進め方 ・DXにおける管理者(部門責任者)の役割等 ・自身が目指すべき姿の策定(ワークショップ)	《2日目》 7月28日(木) ・クラウドでのタスク管理 ・クラウドでの情報共有、業務管理 ・「kintone」の基本操作、カスタマイズやプラグインの利用 ・システム設計、アプリ作成のポイント ・開発の流れ(業務改善例)の紹介
《1日目》 7月21日(木) ・クラウドサービス体験 ・デジタル化で社内がどう変化するか ・DX事例について ・中小企業におけるDXプロジェクトの進め方 ・DXにおける管理者(部門責任者)の役割等 ・自身が目指すべき姿の策定(ワークショップ)	《2日目》 7月28日(木) ・クラウドでのタスク管理 ・クラウドでの情報共有、業務管理 ・「kintone」の基本操作、カスタマイズやプラグインの利用 ・システム設計、アプリ作成のポイント ・開発の流れ(業務改善例)の紹介		
対象者	佐賀県内の事業所等に所属し、所属事業所等におけるDX推進の役割を担う方 《所属事業所等において抱える課題(イメージ)》 ・DXの必要性は感じているが、何をすべきか、どのように進めるべきか分からない。 ・クラウド、ITについて勉強したいが、何から勉強すればよいか分からない。 ・外部からコンサル会社を入れてDXを推進したいが、コストが高くてできない。 等		
定員	20名		
受講料	無料		
申込方法	受講申込書(裏面)に必要事項を記入の上、メールまたはFAXにて、佐賀県立産業技術学院へお申し込みください。		
備考	受講者は、ノート・筆記用具を持参してください。 (パソコンは学院において準備しますので、持参不要です。)		

主催・会場

佐賀県立産業技術学院
(多久市多久町7183-1)
※ 無料駐車場あり

公共交通機関
とのアクセス

- ◆ JR 多久駅より 徒歩約10分
- ◆ 昭和バス(武雄-多久線)
産業技術学院前バス停より 徒歩約5分
- ◆ 昭和バス(佐賀-唐津線)
多久駅北口バス停より 徒歩約10分



お問い合わせ先

佐賀県立産業技術学院 総務企画課 (tel: 0952-74-4330)
(受付時間 平日 8:30~17:15)